

こおは

主な記事

- 特集：生涯現役で豊かな人生を送るために…2
- シリーズ②：男女共同参画社会をめざして ……6
- 市内小学校水泳記録会 ……8
- まちの話題 ……9
- 市民の広場 ……18



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	52,573人(△42)
男	24,548人(△42)
女	28,025人(0)
世帯数	22,373 (0)
8月1日現在()は前月比	

市の面積 253.06km²

今月の表紙



島津の心意気を継ぐ

8月28日の奉納に向け、酷暑をものともせず太鼓踊りの練習に打ち込んでいます。

(伊作太鼓踊 田尻保存会)

No.27 平成19年8月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課

〒899-2592
日置市伊集院町第一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063

東市来支所
TEL 099 (274) 2111

日吉支所
TEL 099 (292) 2111

吹上支所
TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

◀小松帯刀肖像(尚古集成館所蔵)



平成二十年にNHK大河ドラマ「天璋院篤姫」が放映されるのを機に、今月号から篤姫や明治維新に関わる日置市内の人物や文化財をシリーズで紹介いたします。

シリーズ①では、薩摩藩城代家老で明治維新に大きく貢献した小松帯刀(一八三五〜一八七〇)。吉利(日吉地域南部)の領主で、墓は吉利の園林寺跡にあります。薩摩藩を統率し、幕末の混乱から明治維新までを乗り切った人物の業績の一端を紹介いたします。

肝付家から小松家へ

帯刀は、天保六(一八三五)年に喜入(現在の鹿児島市南部)領主肝付兼善の子として鹿児島

城下で生まれました。安政三(一八五六)年に小松家の当主小松清猷が急死、藩主島津斉彬のすすめで清猷の妹おチカと結婚し、小松家の養子になりました。

吉利では、一般の人々と親しく交わり、善政を行ったことから「小松家の名君」と呼ばれたと伝えられています。お仮屋(当時の役所、現在の吉利小学校)に泊まり、鬼丸神社(小松家の祖先が祭神)などを回ったことでしょう。

篤姫と日置 シリーズ①

小松家の名君

小松 帯刀

藩政の改革

帯刀は早くからその実力を評価され重要な役職を務めました。島津久光の信頼を得て藩政改革の中心として改革を任せられ(一八六二)、西郷隆盛や大久保利通らの下級武士を重用しました。二人の活躍も、名門の出身であった帯刀の後ろ盾があつたことでしょう。薩摩藩の重要な産業であった貿易や、蒸気船の建設などの重要事項も任せられていました。

薩長同盟を主導

島津久光に同行して、京都・江戸を廻り、寺田屋事件、幕政改革、生麦事件などの重大事件に対処し、業績が認められて二八歳で家老に昇進(一八六二)しました。

園林寺跡

小松家の墓の残りの妻の墓や帯刀の墓、第二夫人の墓があります。



鬼丸神社

小松家の祖先禰重長(？〜1580)が祭神。重長は戦国時代末期に活躍した武将。ご神体は重長が着用とされる「小松家の鎧(黎明館蔵)」。

大政奉還をせまる

慶応三(一八六七)年に城代家老に就任。大政奉還に際しては、薩摩藩の代表として將軍徳川慶喜と交渉し、政権を朝廷へ返上するよう勧めています。

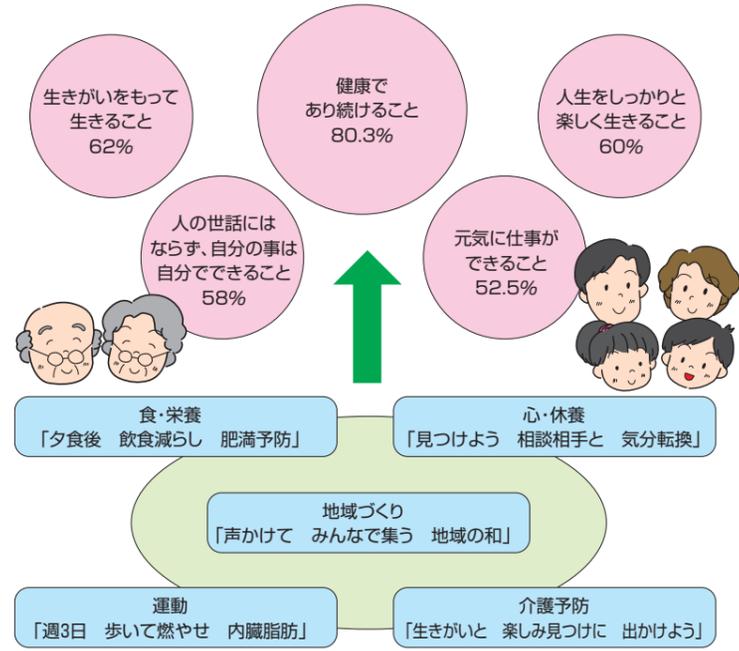
帯刀の功績には、他にも外国との交渉や、坂本龍馬との関わりなどがあります。こうした功績が多くの人に知られてほしいものです。

〔引用参考文献〕
『日吉町郷土誌 上巻』

『幻の宰相 小松帯刀』

日吉町
瀬野富吉

生涯現役で豊かな人生を過ごすイメージ



この目標を実現するために、私たちは日ごろどのように取り組めばよいのでしょうか。ここからはその五つの取り組みと地域内の活動を紹介します。

「健康であり続けること」(八〇・三%)、以下「生きがいをもって生きること」(六二・〇%)、「人生をしっかりと楽しく生きること」(六〇・〇%)、「人の世話にならず、自分のことは自分でできること」(五八・〇%)、「元気に仕事ができること」(五二・五%)と、初めに「健康」をイメージする人が多く見られました。

市では、すべての市民が生涯現役で豊かな人生を過ごすため、市健康実態調査の結果を目標に、市民、家庭、地域、職場、学校、行政が協働し、一体となって、健康な「地域づくり」を中心に、「食・栄養」、「運動」、「心・休養」、「介護予防」に重点スローガンを掲げて取り組みます。

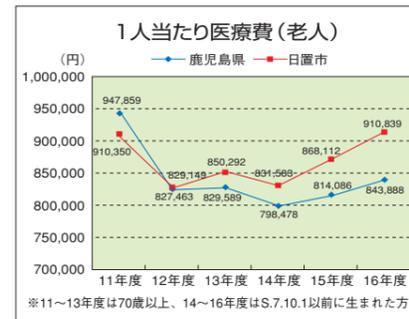
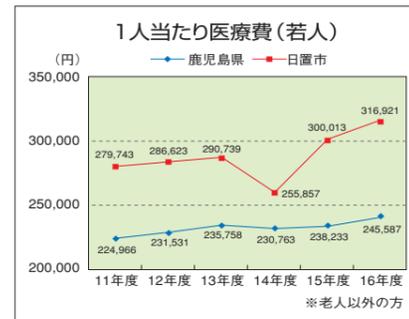
青壮年期(働き盛り世代)に赤信号

このような現状と課題を踏まえ、市では平成十八年度「第一次日置市総合計画」の基本戦略の一つ「子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり」を指し、「元気な市民づくり運動推進計画」を策定しました。平成十三年度から吹上地域で取り組まれてきた「元気な町民づくり運動」を基本として、市全域に推進することとなりました。

子どもから高齢者までを対象にした計画ですが、特に基本健診受診率の低い四〇代から五〇代の青壮年期(働き盛り世代)の男性は健康への意識が低い傾向にあり、メタボリックシンドロームや各種生活習慣病になりうる危険性が高まっています。偏った食生活や運動不足などで、若いうちから肥満



生涯現役で豊かな人生を送るために



グラフ① (資料: 国民健康保険事業状況)

みんなですすめよう「元気な市民づくり運動」

「健康でありたい」。それは誰もが願うことです。健康は、単に病気でないこととして捉えられがちですが、本来は、病気や障害があっても、それらとうまくつき合いながら、地域・家庭・職場などの日常生活の中で「充実した豊かな人生を送ること」をいいます。

市では、「元気な市民づくり運動」に取り組み、このほど推進計画書がまとまりましたので、今回は市の現状とその取り組みについて紹介します。

市の現状と課題

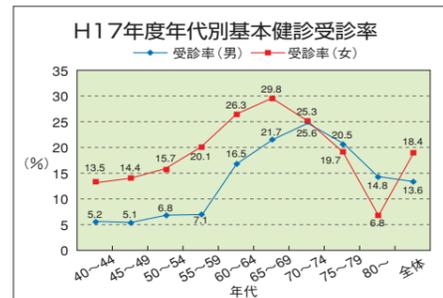
少子高齢化の進展に伴う医療費の増大が深刻化する現代。健康は、国民が安心して暮らす上で最も重要な課題です。市でも、医療費の高騰、要介護認定者の増加、健康意識の低迷などの問題があります。この現状を改善するために、市民全員が健康への意識を高める必要があります。

医療費の高騰

日置市国民健康保険は平成十六年度医療費実績に基づき、平成十八年度高医療費市として国の指定を受けています。市民一人当たりの医療費も高く、グラフ①で県平均と比較してみると、老人、若人について、年々差が広がっています。

要介護認定者の増加

グラフ②の平成十四年度から平成十八年度までの「介護度の年度推移」を見てみます。平成十四年



グラフ③ (資料: 老人保健事業報告)



グラフ② (資料: 介護保険課)

地域づくり

地域一体となった健康づくりが必要

永吉地区公民館には、地域住民の健康づくりを推進するために「保健福祉部」を組織しています。旧吹上町時代の平成十三年に「元気な町民づくり運動」が推進されてからも、いち早く取り組みが始められました。保健福祉部で取り組んでいる「歩こう会」は、朝ウォーキングや地域内の史跡めぐりで少しでも体を動かそうと活動しています。昨年三月には市外で「歩



永吉地区公民館 久木崎 親文 館長



▲「歩こう会」の活動

こう会」を実施。参加者はいつもと違う環境でのウォーキングを楽しんでいるようでした。「歩こう会」のほかに、地域の食生活改善推進員を講師にむかえての「出前栄養教室」や防災無線で音楽をかけて午後三時から体操する「みんなの体操」など、地域の健康づくりを推進するさまざまな取り組みを行っています。早くからの取り組みで、地区内の自治会単位でも健康への意識が高くなってきました。健康は一人ひとりの問題ですが、地域の保健推進員や食生活改善推進員などのさまざまな役割を持った方と連携を図りながら、地域一体となって健康づくりに取り組むことで、健康に対する個人の負担を減らし、皆で楽しく活動することができるといいます。

食・栄養

「食」への意識 自分でできる健康管理

食改さんでおなじみの私たち食生活改善推進員は、地域の皆さんが心身ともに健康であることを願う研修会や教室を開催し、機会を捉えながら地道な活動を行っています。



市食生活改善推進協議会 代表 米澤 洋子さん

毎年、年度終わりに四地域の食生活改善推進員が集まり、次年度の事業計画や目標などを話し合います。今年度は「四〇歳以上男性のメタボリックシンドローム予防」がねらい。「元気な市民づくり運動」推進計画でも、これからの一番心配される働き盛り世代の健康

を考えています。「食」は、健康づくりの約六割を占めていると言われていて、一日の生活で運動する時間もなく、仕事を終えてカロリーの高いものをたくさん摂取する働き盛り世代。

これは当然メタボリックシンドロームに繋がります。大切なのは「自分自身が健康管理を認識すること」です。「食」への意識を変え、自分でできる健康管理に取り組むことが大切です。

運動

脱メタボ 日常生活での運動が大切

運動の知識を楽しく分かりやすく地域に普及し、市民の健康増進と体力の維持増進を図っている運動普及推進員。私たちは市民の皆さんの身近な場所で、楽しい運動と会話をし、健康づくりに役立ててもらおうと活動しています。



運動普及推進協議会 代表 西尾 スマ子さん

私たちの活動の一つである公民館講座の「妙円寺健康体操」では、青壮年期から高齢期の方に、これからの人生で長く続けられる体操を指導しています。皆で集まって運動をすることで、参加者同士で色んな話をしたり、楽しく笑った

りすることができ、参加者は皆元気がつらつとしています。さまざまな教室を開催していますが、まだまだ男性の参加が少ないです。特に働き盛り世代には日ごろ運動をする習慣がないためか

メタボ予備軍も増えてきています。「運動をする時間があまりない」と言わず、日常生活の中で「少しでも体を動かしてみよう」という意識を持つことが大切だと思います。

心・休養

人との交流で 心にも栄養を

ゆつたりのんびり温泉にかかる。温泉には、その泉質によってさまざまな効能があり、肉体的だけでなく精神的にも疲れをとる効果があります。私たち吹上温泉旅館組合には現在、地域内の温泉旅館五軒が加入し、さまざまな活動を行っています。温泉の良さをもっと知ってもらおうと、毎月二十六日は

温泉の効能で肉体的にリフレッシュすることはもちろんですが、温泉施設内で人と交流することも、「心・休養」を支える一つの要素だと思っています。普段、全く知らない人と突然話をすることは難しい

ですが、温泉ののんびりとした雰囲気だと、何気なく話ができたりします。ほっと心が和む空間で人と交流する。それも健康へと繋がっているのではないのでしょうか。



吹上温泉旅館組合 代表 池田 日道さん

介護予防

人ひとりの「健康への意識」を支援

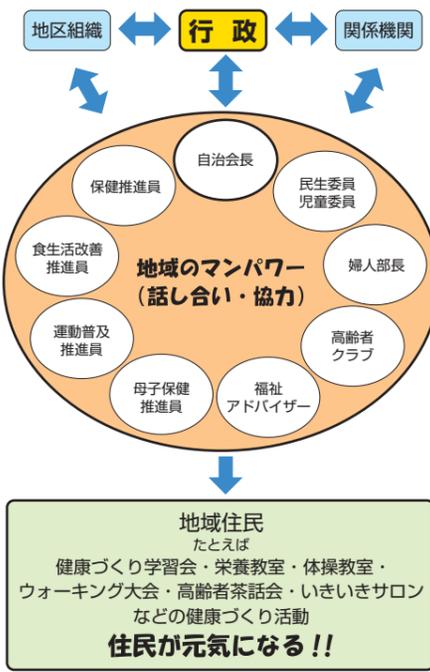
市高齢者クラブ連合会は、高齢者の健康づくりを推進し、介護を必要としない、いつまでも元気な高齢者がいるまちを目指しています。いつまでも元気であるためには、健康や栄養について意識すること、無理なく身体を動かすこと、生きがいを持つことなどのいくつかのポイントがあります。市内各自治会では、高齢者クラブやいきいきサロンなどの活動が行われています。この活動は、地域に住む高齢者が元気に楽しく過ごすための絶好の機会です。私たち連合会

は、その各地域リーダーのけん引役として、指導や役割の確認を行っています。生涯現役で豊かな人生を過ごすためには、一人ひとりが健康への意識をしっかり持つことが大切。高齢者クラブ連合会の目的は「健

康の維持増進」です。自分の活動に誇りを持ち、意欲を出して取り組めば、日常生活が楽しくなり、やがては「健康」に繋がります。私たちは、その意識を持ってもらおうよう取り組んでいます。



市高齢者クラブ連合会 代表 大西 早苗さん



地域健康づくり活動のイメージ

地域づくり

健康は、自分の住む地域で、その地域のさまざまな役割を持つ団体や人と関わりながら進めていくことが大切です。地域づくりの課題には「市民の四人に一人は地域活動に参加していない」「若い年代は地域活動に半数以上参加していない」「健康診断の受診率が低い」などがあります。身近な地域活動に参加し、地域のネットワークをつくることで、住民同士で情報交換ができます。

地域では、「健康」に関するさまざまな取り組みを行っています。まずは、その地域活動に参加して、地域で、「健康」に関するさまざまな取り組みを行っています。まずは、その地域活動に参加して、地域で、「健康」に関するさまざまな取り組みを行っています。

食・栄養

食・栄養の課題には「男性の五人に一人は肥満である。特に四〇代男性に肥満が多い」「市民の七割に運動習慣がない」などがあります。運動習慣とは、おおむね週二回以上、一回三十分以上、一年以上持続しているものです。運動習慣がない人は、日常生活での運動を意識することが大切です。



運動

運動の課題には「男性の五人に一人は肥満である。特に四〇代男性に肥満が多い」「市民の七割に運動習慣がない」などがあります。運動習慣とは、おおむね週二回以上、一回三十分以上、一年以上持続しているものです。運動習慣がない人は、日常生活での運動を意識することが大切です。

心・休養

心・休養の課題には「市民の六〇七人に一人はストレスを大いに感じている。特に二〇代女性、三〇代男女、四〇代男性の五人に一人はストレスを大いに感じている」。「市民の四割は気分転換やストレ

ス解消ができていない」などがあります。ストレスは生活の中で少なからず受けるもの。適度なストレスは毎日の生活の中でいい刺激になり、活力を与えてくれます。ストレスを溜め込まず、自分なりの気分転換やリラクゼーション法を身に付けることが大切です。

国保ヘルスアップ事業



▲国保ヘルスアップ事業「オリエンテーション」

七月十六日、日吉保健センターで国保ヘルスアップ事業のオリエンテーションが行われました。これは、来年四月一日から全国一斉に行われる医療制度改革で特定健診特定保健指導が始まることに先駆けて行われる国の事業で、平成十八年度の市の基本健診や国保人間ドック受診結果をもとにメタボリックシンドロームや各種生活習慣病予防のために市民約五十人を対象に運動や栄養に関する教室を開催しながら、健康への意識を高めていくプログラムです。

今月は、「日置市男女共同参画推進懇話会」ならびに「日置市男女共同参画基本計画策定ワーキンググループ」について紹介します。

アンケートは、「職場における男女の扱い」ならびに「家庭における家事の役割」についての結果を報告します。

市民の皆さん、この機会に自分たちの「職場」、「家庭のあり方について」考えてみましょう。

日置市男女共同参画推進懇話会

男女共同参画社会の実現に向けて、市民参加による制度づくりを推進し、男女共同参画社会の基本的あり方および制度化に関する事項、男女共同参画に係る必要な事項について検討を行い、市長に提言する組織として設置されました。

現在、男性六人、女性十二人、計十八人の委員で構成され、平成十八年九月二十五日から平成二十年九月二十四日までの二年間の任期となっています。

懇話会は、これまで、六回開催され、日置市男女共同参画基本計画の策定に向けて話し合いが行なわれています。

日置市男女共同参画基本計画策定ワーキンググループ

日置市男女共同参画基本計画策定において、市の各課等の男女共同参画に関する事業を把握し、それを元に男女共同参画社会を早期に実現するために必要な主要施策等について検討する組織として設置されました。

現在、男性七人、女性九人、計十六人の委員で構成され、基本計画の策定が終了するまでの任期となっています。

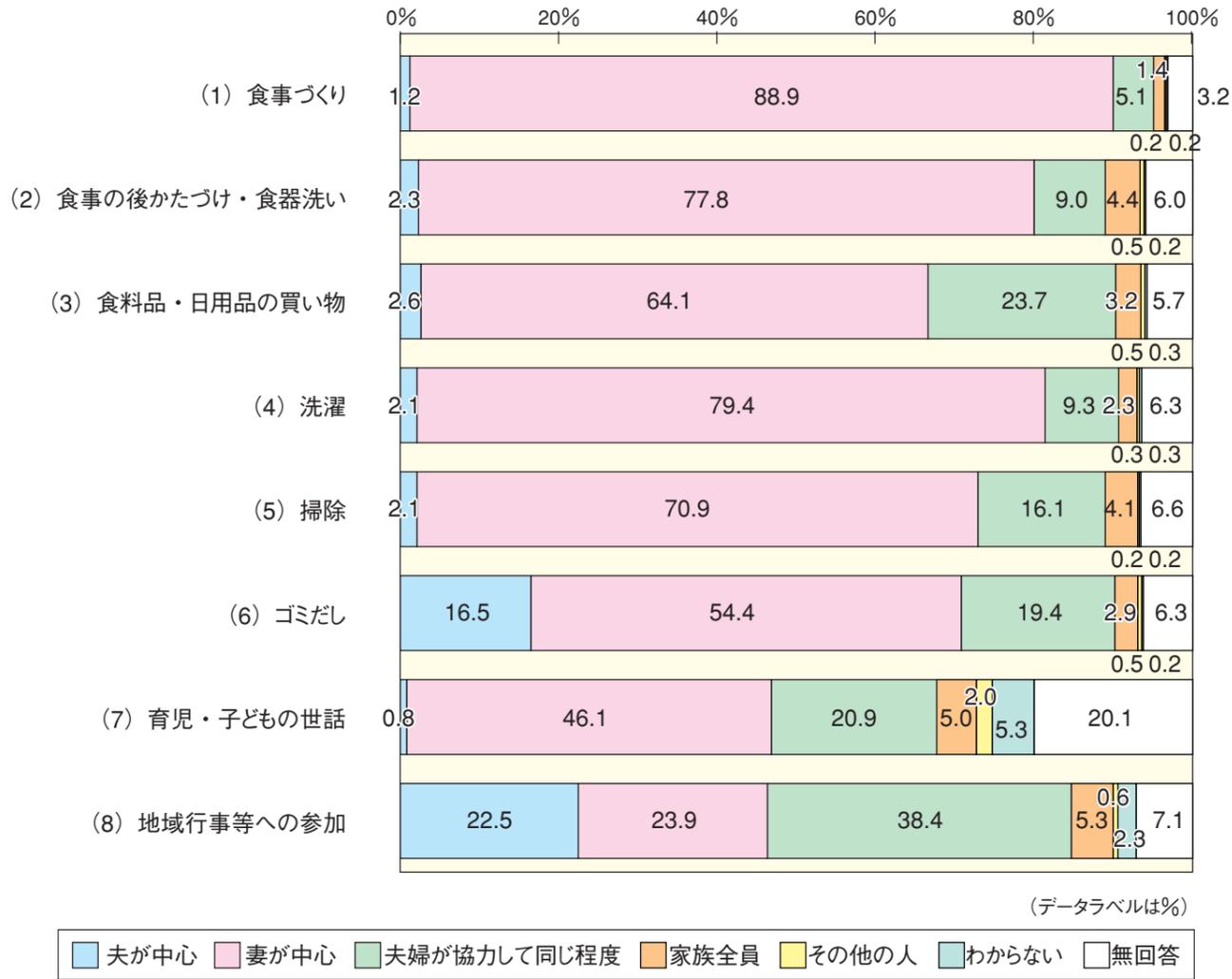
ワーキンググループの会議は、これまで、六回開催され、懇話会で協議されたことをまとめ、計画策定に向け、準備を進めています。

▼日置市男女共同参画推進懇話会



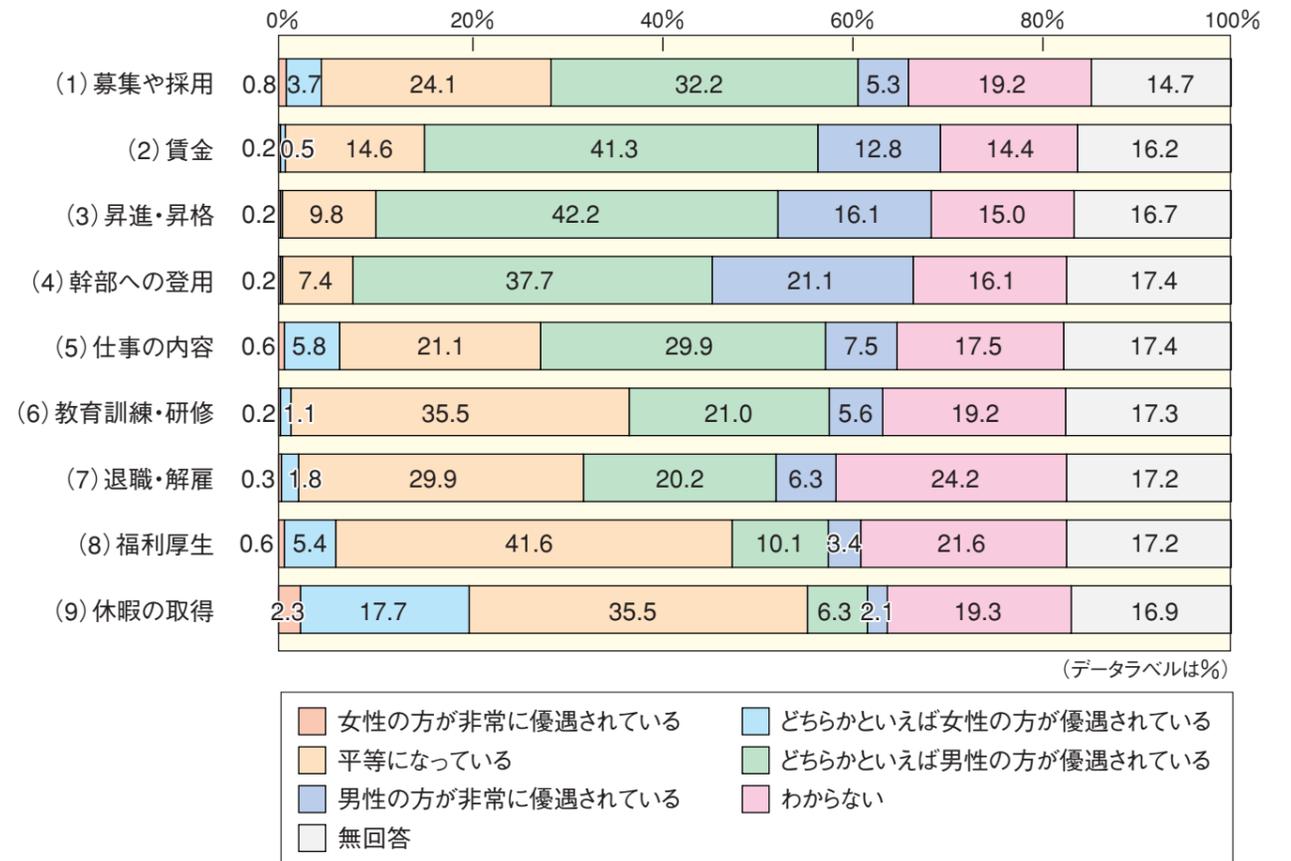
▲日置市男女共同参画基本計画策定ワーキンググループ

家庭における家事の役割について



◆ 全体では「食事づくり」「食事の後かたづけ・食器洗い」「食料品・日用品の買い物」「洗濯」「掃除」「ゴミだし」の項目で、「妻が中心」が50%を越えるなど、多くの家庭では女性が日常的な家事を主に担っています。また、「育児・子どもの世話」は、やはり「妻が中心」の割合が高くなっていますが、他の家事と比べて「地域行事等への参加」とともに「夫婦が協力して同じ程度」の割合も高くなっています。

職場における男女の扱いについて



◆ 「平等になっている」と思う割合は、「福利厚生」が41.6%と最も高く、次いで「教育訓練・研修」「休暇の取得」(どちらも35.5%)となっています。一方、平等感が低い項目は、「幹部への登用」(7.4%)「昇進・昇格」(9.8%)と1割にも満たない割合となっています。



ボクシング
日本代表強化合宿

世界を目指し吹上合宿

アマチュアボクシングの日本代表チームが世界選手権を目指して、七月十八日から二十五日まで、国民宿舎吹上砂丘荘を拠点に強化合宿を行いました。代表チームは、鹿児島市出身の本博国監督と選手十四人。選手権への一次合宿として、体力強化を目的に吹上浜や松林のクロスカントリーコースの走り込みを中心に、厳しい練習をこなしていました。

「試合での合宿を励みにして頂き、ぜひチャンピオンを目指してがんばって下さい」と砂丘荘の職員は激励しました。



猛暑に負けず熱戦展開

吹上かめの子サッカー県大会

日置市商工会青年部吹上支部などが主管する「吹上かめの子サッカー県大会」が七月二十八日から二日間、吹上浜公園などで開催されました。

この大会は、試合に出る機会の少ない小学四年生以下を対象に、サッカーの底辺拡大や親睦を深める目的で平成元年から始まり、今年で十九回を数えました。

大会には県内各地から七十二チーム、千人を超える選手が参加。同公園陸上競技場をはじめ五会場、八コートで熱戦が展開されました。

おりしも鹿児島地方は猛暑日が続く。指導者や保護者は選手らの体調管理にも注意を払いながらも「行け」「シュート」と声をかけました。

十五分ハーフのゲームに「試合に出て楽しかった」「すごく緊張した」と選手。この大会から未来の日本代表が誕生するかもしれません。



桜島・錦江湾横断遠泳

スイミングクラブ員全員が、錦江湾を完泳!

梅雨明けの七月二十二日、桜島・錦江湾横断遠泳が、錦江湾を会場に行われ、日置市B&G東市来海洋センタースイミングクラブの会員十三人が参加しました。

この遠泳は、原田学園スイミングスクールが主催し、今年で四回目。参加者百二十人中、クラブ員は、四カ月間の練習の成果を十分に発揮して、全員が

平泳ぎやクロールを元氣よく泳ぎ、見事に完泳しました。クラブ員の木山志葉さんは「途中で、海水を飲んで苦しかった。みんな頑張っていたので励みになりました」と、同じく河野慎也くんは「補給水と氷砂糖で元氣ができました。これからも練習をして、来年もぜひ泳ぎたい」と話していました。



伊集院V6

三年連続全国大会出場!

七月十一日、「伊集院V6バレースポーツ少年団」の福上監督以下選手十二人が、第二十七回サントリーカップ全日本バレーボール小学生大会出場の報告で、宮路市長を表彰訪問しました。

伊集院V6は、同大会鹿児島県大会において堂々三連覇での全国大会出場。宮路市長から激励を受け、V6キャプテンの西田雄貴くん(湯田小六年)は「試合ずつ勝ち進み、センターコートでプレーし優勝を目指します!」と力強く答えました。

昨年はベスト16、選手もほとんどが全国大会経験者。今大会での活躍が期待されます。

11の新記録誕生

各地域で日ごろの練習の成果を発揮!

夏休みに入って間もない7月27日、市内4地域ごとに、平成19年度日置市小学校水泳記録会が行われました。

出場した児童らは、プールサイドで見守る児童や父母からの声援を受けながら日ごろの練習の成果を発揮し、日置市全体で11の新記録が誕生しました。

なお、紙面の都合で各地域の個人種目の1位記録のみの掲載となっています。

日置市小学校水泳記録会 記録(各地域 個人種目1位のみ)

*赤で記載されているものは新記録です。

種目	東市来地域	伊集院地域	日吉地域	吹上地域
6年男子100m	瀬戸口晃太(鶴) 1'04"0	護摩所賢斗(伊) 1'22"7		竹田 郁海(永) 1'59"5
6年女子100m	立和名重衣(鶴) 1'36"7 梅園 佳子(湯) 1'36"7	徳留 紗良(伊) 1'19"7		池田 美桜(伊) 1'51"2
6年男子50m	徳田 圭佑(鶴) 41"5	大倉野裕士(妙) 33"5	佐藤 巧矢(住) 40"8	原田 康孝(伊) 41"1
6年女子50m	若元 梓(鶴) 39"0	大迫あゆみ(伊) 41"1	西留 美貴(吉) 33"6	池田 美桜(伊) 43"7
5年男子50m	永井 莉久(湯) 39"7	木之下凌平(伊) 42"2	大西 弘城(新) 37"3	深谷 徹(伊) 45"4
5年女子50m	宮前 怜奈(湯) 41"0	今西奈々美(土) 42"0	奥平 裕美(吉) 49"4	下園 理恵(伊) 38"5
6年男子25m	中国 浩平(鶴) 20"8		二石 大輔(吉) 18"2	
6年女子25m	大峯 梨菜(鶴) 20"9		坂上 愛奈(吉) 18"9	
5年男子25m	宮之前勇斗(鶴) 25"8	長友 拓也(伊) 19"0	伊集院 悠(日) 23"9	井上 航平(和) 19"5
5年女子25m	前田 葵(鶴) 22"5	今西奈々美(土) 18"2	前花 星南(吉) 20"5	有馬 怜奈(和) 21"0
4年男子25m		宇都宮太一(妙) 20"8	上田平湧人(扇) 20"8	藤田 武児(永) 18"3
4年女子25m		川路彩理紗(北) 18"2	中屋敷朋美(吉) 22"5	平田 夏海(伊) 22"8
6年男子100m	久保 宏介(上) 1'56"9	村岡 翔也(伊) 1'46"5	星野 匠(吉) 2'25"6	満沢神之介(伊) 2'03"2
6年女子100m		菊水紗也子(妙) 1'54"2		本 溪音(永) 2'16"0
6年男子50m	河野 聖也(鶴) 54"1	有村 悠雅(伊) 45"6	二石 大輔(吉) 59"7	満沢神之介(伊) 52"6
6年女子50m	若元 梓(鶴) 50"4	菊水紗也子(妙) 51"9	竹内唯希央(住) 1'22"2	宮之前志穂(伊) 59"6
5年男子50m	演田 翔人(湯) 52"7	梶 直也(北) 54"2	木下 悠輝(日) 1'38"9	野添 凜(永) 1'10"6
5年女子50m	吉村 友里(湯) 59"6	谷口 夏音(伊) 55"5	前花 星南(吉) 1'11"9	下園 理恵(伊) 54"2
6年男子25m			八重倉将司(吉) 32"7	
6年女子25m			山里 佳穂(吉) 26"3	
5年男子25m	東市来地域 (鶴)⇒鶴丸小 (伊)⇒伊作田小 (湯)⇒湯田小 (上)⇒上市来小 (美)⇒美山小	大村 弘樹(妙) 24"7	小園 凌央(吉) 34"8	井上 航平(和) 24"5
5年女子25m		下園 寧音(妙) 27"4	諸正 鈴夏(扇) 37"2	中城 涼花(永) 33"7
4年男子25m		帖佐 直彦(伊) 24"8		藤田 武児(永) 25"5
4年女子25m		川路彩理紗(北) 23"3		平田 夏海(伊) 31"6
6年男子50m		大倉野裕士(妙) 39"6		原田 康孝(伊) 56"7
6年女子50m		大迫あゆみ(伊) 50"5	西留 美貴(吉) 36"1	
5年男子50m		木之下凌平(伊) 59"6		本田 瑞葵(永) 1'09"8
5年女子50m		徳永 朱奈(飯) 1'10"6		
6年男子25m		伊集院地域 (伊)⇒伊集院小 (飯)⇒飯牟礼小 (土)⇒土橋小 (北)⇒伊集院北小 (妙)⇒妙円寺小	山口 秀延(吉) 34"1	
6年女子25m			松村 夏帆(吉) 25"9	
5年男子25m			権元 秀斗(吉) 45"2	深谷 徹(伊) 24"5
5年女子25m			下原 綾(日) 28"8	秋葉 千里(花) 27"2
5年男子50m			大西 弘城(新) 49"6	吹上地域 (永)⇒永吉小 (伊)⇒伊作小 (花)⇒花田小 (和)⇒和田小
6年女子25m			岩井田光梨(扇) 20"1	
5年男子200m	永山 哲(伊) 4'07"2			
6年男子100m			日吉地域 (日)⇒日置小 (住)⇒住吉小 (新)⇒日新小 (吉)⇒吉利小 (扇)⇒扇尾小	原田 康孝(伊) 2'11"4
6年女子100m				窪園 遥奈(永) 2'31"4
5年男子100m				東 智輝(永) 2'30"7
5年女子100m				下園 理恵(伊) 1'42"8



川面に映える電飾筏

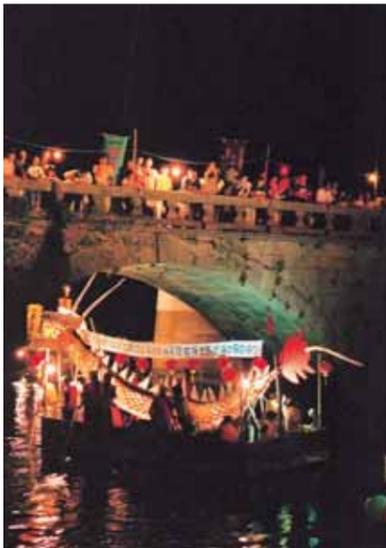
第十九回永吉筏下り

永吉川の夏の風物として定着している筏下りが七月二十八日、永吉川下流で開催されました。川久保橋を出発した筏はにぎやかな音楽や電飾に彩られ、ゆつくりと終点の浜田橋まで下りました。終点に差し掛かると到着を待ちわびた観客が大きな歓



声で迎えました。筏は時代や地域を題材に一カ月前から地区の青壮年を中心に作製。子どもから高齢者まで多くの人が参加することで世代間の交流が生まれ、子どもにとっても学校を離れて遊びや文化を学ぶ場となっています。永吉地区では、地区内十九の自治会を一区から五区に分け、特色ある活動を推進。筏下りには七枚の筏が参加しました。

【筏部門】
最優秀賞 2区 環境クリーン作戦号
最優秀賞 2区 天昌寺浜田号
【標語部門】
「筏の日はずむ会話とみんなの笑顔 家族そろってGO GO GO!」



▲永吉招魂社六月灯

▲北湯之元六月灯



▲宮内地区六月灯

灯籠の灯りにぎやかに

吹上地域各所で六月灯

蒸し暑い夏の夜に涼を呼ぶ六月灯が吹上地域各所で開催されました。それぞれの会場入口には、地域伝統の趣向を凝らした角灯籠や回り灯籠、花灯籠が飾られ、訪れた人を楽しませました。例年、吹上で最も早く六月灯が行われる北湯之元自治会は、台風四号のため一週間延期され、七月二十一日に行われました。繊細な装飾が施された回り灯籠のほのかな灯りのもとで、青壮年らがにぎやかに踊りました。同日、永吉招魂社六月灯も開催。にわか雨の影響で永吉小校庭から地区体育館に会場を変更。恒例の子どもみこしの時には雨も上がり、威勢のいい声が社に響きました。七月二十八日は宮内地区六月灯が大壮年連社で行われました。鳥居を灯籠で包み込み、境内一円に大小の灯籠が灯される中、金魚すくいに歓声がわきました。

湯の街に揺れる灯ろう

湯之元温泉とろう祭り

七月二十八日、日置市商工会東市来支所前の広場でがんばろう湯之元会主催による「湯之元温泉とろう祭り」が開催され、湯之元温泉街を五百個の灯ろうが照らす中、市内外から家族連

れなど大勢の人が訪れました。また、ステージではちびっこラムネはやのみ競争や吉留道場による五つ太鼓演奏、南しようこさんによる歌謡ショーが行われ、会場は盛り上がりつつありました。



大阪ドームが鹿児島一色に

第4回かごしまファンデー



鹿児島島の観光や特産品を関西に向け発信し、県人会相互の親睦を図ることを目的に七月二十二日、京セラドーム大阪でかごしまファンデーが開催されました。ドームは関西在住の鹿児島県出身者ら三万人で終日にぎわい、鹿児島ムード一色に包まれました。当日は県人会会員も販売に参加し、懐かしいふるさとの味を積極的に宣伝。市からは伊集院まんじゅう、天然塩、芋焼酎など八事業所が出展し、いずれも盛況でしたが、一部売れ残る商品も見受けられ、次回への課題となりました。

身近で本格的アウトドア

吹上浜キャンプ村開き

昭和二十四年に国設野営場として開所、県内でも老舗的存在となった吹上浜キャンプ村が七月、開村しました。今シーズンの無事故を祈って七月十日、安全祈願祭が行われ、市や観光協会、森林管理署など関係者が開村期間中の安全を祈りました。同村にはバンガロー十六棟、台座付テント二十六棟を整備。

松林に吹上浜の細波の音が響き、本格的なアウトドアが楽しめる。と、安定した人気を誇ります。夏休みも残りわずか。市内の施設で野営体験はいかがでしょう。キャンプ村は青少年団体に限り期間外使用も可能です。お問い合わせは、日置市吹上支所公共施設振興管理公社（二一九六、六〇二二）まで。

乗るウェーブ&エコウェーブ

江口浜ロングボードクラシック2007



七月一日、江口浜（東市来）で第十二回江口ロングボードクラシックが開催されました。これはサーフィンのロングボード（約二七五cm以上のボード）の大会で、県内外から百人の選手が参加し、日ごろの練習の成果を競いました。

主催者のNPO江口浜ビーチサービスマネジメント 西村浩二さんの「ハワイではサーフィンが文化として根付いている。日本でも少しずつ定着しつつあるが、自然を愛する文化も大切にして欲しい」という思いから、競技開始前に海岸清掃を行いました。同NPOでは、毎月第三日曜日に海岸清掃を行っています。なお、日置市からの入賞者は次のとおりです。

- ビギナークラス
4位 木之下圭士 (GAN KO)
 - オープンクラス
優勝 宇田栄一郎 (日置市役所)
4位 上村 裕文 (日置市役所)
 - スペシャルクラス
4位 成田 拓馬 (GAN KO)
- * () は所属名



親子読書研修会

七月三日、かごしま県民交流センターで親子読書研修会が行われました。日置小学校親子読書会「おはなしくろーバー」が事例発表しました。読書会の代表である前田さんは、「皆さんに身近な読書活動が楽しく行き渡れるようにできたら」と思いを話されました。



充実した学習を 目指して！

平成十九年度高齢者学級「日吉大学」が五月から月に一回、行われています。班別学習では、園芸、菊花、グラウンドゴルフ、囲碁、ゲートボール、カラオケ、パソコン、真向法（まっこうほう）（四つの体操）、フラダンス、社交ダンスが十の班であり、健康で充実したいきがいのある生活を目的としています。



不審者侵入避難訓練

うぐいすが鳴くのかな学校に突然の不審者侵入！七月八日に住吉小学校、七月二十日に扇尾小学校で不審者侵入避難訓練が行われました。不審者に扮した日吉派出所の興倉駐在さん、五、六年生の教室に突然入ってきて、ナイフを振り回し、先生方は不審者を防止する「サスマタ」で五分間の奮闘が続きました。その後、児童たちに、不審者対応の仕方についての話があり安全を確認しました。



▶韓国料理講師の金さん（写真左）

世界の味を求めて、いざ出発

世界料理講座開講

七月二十一日、東市来文化交流センターで料理講座「世界味の旅」が開講し、市内外から講座生十五人が参加しました。これは本市国際交流員の金信愛（きむしんえ）さんが企画したもので、国際交流員や外国語指導助手が講師となり、全五回の講座を通じて様々な国の食文化に親しんでもらおうというものです。

第一回は韓国料理でデジブルコギ（豚肉の甘辛炒め）やもやしスープ、きゅうりの炒めなどを調理。本場のコチュジャンや粉唐辛子を使ったタレに豚肉を漬けて炒めたプルコギは格別。講座生の中原麻乃（あさの）さんは「プルコギは油を使わないのに食材が調和している」「様々な地域の人と触れ合えて良かった」と話していました。今後は、中国料理やイギリス料理、マレーシア料理と味の旅はまだまだ続きます。



私、お似合いかしら？

お誕生会

六月二十日、日吉福祉センターで、四月、五月、六月のお誕生会が行われました。地域婦人会の方々が出し物があった後、五人の利用者がウエディングドレスを試着してモデルになりました。きれいに化粧をしてみごとに出来上がった花嫁姿に恥ずかしさと嬉しさでニコニコ笑顔！さっそく試着した感想はと聞いてみると「亡き主人に見せたかった」と、感慨深げな様子でした。



▲伊集院北中学校「地球の運動と天体の動き」

また、中学校では、伊集院北中学校の久保教諭による「地球の運動と天体の動き」の授業で、身の回りのことに関心を持ち、それを科学的に考えようとする授業のあり方を提案しました。子どもたちは、多くの参加者



▲美山小学校「昆虫をしらべよう」

七月五・六日、「第五十五回鹿児島県理科教育研究大会」が、鶴丸小学校、美山小学校、伊集院北中学校および東市来文化交流センター、市中央公民館などを会場に行われました。両日、県下の理科教育に携わる教員三百六人が「探究心を高め、豊かな人間性を培う理科教育」というテーマのもと日置市に集いました。



▲鶴丸小学校「ものの燃え方」

この事業では、子どもたちに「科学する楽しさ」を味わってもらえるようペットボトルロケット作りや野鳥観察などの子どもも活動を行ったり、理科実験法研修などの先生方の研修会を実施したりしています。今回の県大会とも連動させ、研修をさらに深めることで、日置市に理科好きの子どもがますます多くなることを期待しています。



市内中学校で教員は、学校での講習も実施しています。今後、このような講習会を日置市の保健主任研修会のなかに組み込むなど随時実施していく予定です。

探究心を高め、豊かな人間性を培う理科授業を公開

第五十五回鹿児島県理科教育研究大会

「AED」中学校七校に配備

AED講習 小・中学校教員 受講

日置市内全中学校にAED（自動体外式除細動器）が配備されました。ボールが心臓に強く当たった時などに心臓がぶるぶると細かく震えている状態になります。その時に電気ショックを与え、心臓の正常な動きを取り戻すことが、救命救急上、たいへん重要です。その役割を果たすのがこのAEDです。したがって、学校職員が使い方を理解し、事故のときに誰でも使える体制にしておく必要があります。

そこで、七月三日に開かれた日置市小・中学校教員研修会において、市消防本部南分遣隊の指導のもと、全二十六人の教員が講習を受けました。隊員が心臓マッサージと人工呼吸を実施しながら、AEDのパッドを装着し電気ショックを与える実演をじっくりと観察し、研修を深めました。AEDの音声案内に従って、装着・操作すればよいことがわかり、いざという時に活用できるよう意識を高めることもできました。



関西淡路大震災を契機に、平成九年に発足した関西鹿児島吹上会総会が六月十日、大阪市のホテルで開催されました。

総会は二年おきに開催され、今年で六回目、発足以来十年という節目を迎えた総会には、関西地区在住の吹上出身者百四十人が出席。焼酎を酌み交わして、

わが故郷吹上を語り合う

第六回関西鹿児島吹上会

わが故郷吹上を語り合いました。また、吹上出身の歌手、福元慎一さんのショーや抽選会では、会場に鹿児島弁が飛び交いました。

会場では天然塩やちりめん、ちまきなど、吹上の特産品や懐かしい味が販売され、こぞ買って求めていました。



関西吉利会 総会

五月二十七日、関西の箕面温泉スパーカーデンで、第十回関西吉利会総会・懇親会が行われ、旧日吉町出身者の方々が出席しました。

当日は、百二十人が集まり、出席者は日吉の懐かしい思い出に話は付きなかつたようです。



地域活動で、少年の非行防止と更正援助

第五十七回社会を明るくする運動

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない社会を築こうと、毎年七月を「社会を明るくする運動」強調月間として、各地でさまざまな取り組みが展開されています。

七月五日、日置市保護司会(谷口正行代表)が、運動の高まりを期して、市長に法務大臣のメッセージを伝達しました。



七月は「社会を明るくする運動」月間。犯罪のない明るい社会を築こうと七月一日、キャンペーン活動が行われました。

キャンペーンには吹上地域の保護司と吹上地域更生保護女性会員十五人が参加。同会会員は運動のシンボル、ひまわりがデザインされたそろいのシャツを着用、吹上支所前で出発式を行いました(写真)。

その後地域内を、運動月間を

地域連帯で犯罪防止を

社会を明るくする運動キャンペーン活動

知らせる横断幕をつけたバスで巡り、街宣で呼びかけながら、運動への理解と協力を訴えました。

「地域の連帯感を強めて、非行防止や犯罪の抑止力に」と呼びかけるものの、「この運動はなかなか理解が得られない」と更生保護女性会。それでも「地道に粘り強くなればります」と決意を話しました。

故郷のシンボル吹上浜を清掃しようとして、七月二十一日には東市来地域で、七月二十二日には日吉地域、吹上地域で吹上浜クリーン作戦が行われました。

作戦は平成九年から始まり、毎年、海の日になんで行われているもの。今年は台風四号が襲来し、一週間延期を余儀なくされました。

吹上浜海岸線を分割して、沿岸自治会や地区に割り当てての作業。

両日とも、延期にも関わらず、早朝からの作業に一、五四二人が参加(東市来地域六二九人、

日吉地域五四〇人、吹上地域三七二人)。豪雨や台風が運んだゴミや竹切れで埋まった海岸の清掃に挑みました。

また、吹上地域のクリーン作戦には同窓生で組織する伊作中鹿児島35会いかの会二十人も加わり、幼い頃慣れ親しんだ吹上浜海岸をいたわるように清掃していました。

この作戦で集まったゴミは、東市来地域が可燃物八九〇キロ、不燃物四八〇キロ、日吉地域が可燃物二八〇キロ、不燃物七九〇キロ、吹上地域が可燃物一、二二〇キロ、不燃物三五〇キロでした。



▲伊作中鹿児島35会いかの会

早朝作業に千五百人が汗

吹上浜クリーン作戦



▲吹上地域



▲日吉地域



▲東市来地域

的確に 迅速に 取り扱い技術競う

第二十回市屋内消火栓競技大会



七月十日、市消防本部訓練場で第二十回市屋内消火栓競技大会が行われ、管内の事業所などから二十チームが参加しました。

競技は一チーム三人で行われ、消火栓ボックスからホースを取り出し、標的物を消火するまでの一連の動作が、的確かつ迅速に行われるかが審査されました。

優勝は小正醸造(株)チームで得点タイムは43・48秒でした。

雨にも負けず! 草払いボランティア

建栄会

七月八日、東市来地域遠見番山で、土木業の建栄会(吉田建会長、会員十六団体)の会員等十八人が八時から草払いボランティア活動を行いました。

毎年恒例となっているこの活動は、今回が七回目(四回目までは、江口浜荘プール周辺)で、公園内の草払い。

今回は、見通しが悪くなっている頂上までの道路沿いの草払いとなりました。市長、支所長が激励に駆けつけ、あいにくの雨の中を手際よく草払いしていました。





厚生労働省・社会保険庁 からのお詫び

「この度の年金記録をめぐる問題については、大変ご心配をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます」

厚生労働省・社会保険庁 からのお詫び

①基礎年金番号にまだ統合されていない年金記録も、大切に保管しています。

平成九年の基礎年金番号の導入以来これまで、記録を結びつけるための照会を全被保険者に行ってきたが、まだ約五十万件（平成十八年六月）の記録が、基礎年金番号に結びつけられていません。

この未統合の記録は大切に保管されていますが、そのままでは年金支給に結びつかなくなるおそれがあります。

年金記録をめぐる問題

②年金記録問題への対応策を定めました。

五千万件の記録を、被保険者・年金受給者の記録と、突き合わせ、未統合の記録がある可能性のある方には、お知らせします。また、社会保険庁や市町村に記録がない場合には、領収書等

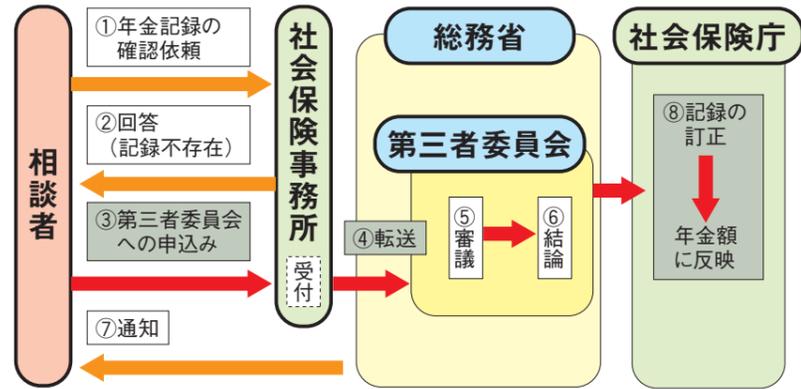
の証拠がなくても、銀行通帳の出金記録、元雇用主の証言などを根拠として判断を行う第三者委員会が設置されました。

なお、年金記録の訂正により、五年の時効を超えた場合でも、全額お支払いできる「年金時効特例法」が制定施行されました。

年金記録確認第三者委員会がスタートしました

全国の最寄りの社会保険事務所で、7月17日から「地方第三者委員会」への申し込みを受け付けています。

※ 詳しくは、お近くの「社会保険事務所」にお問い合わせください。また、「総務省のホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）」でもご案内しています。



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

おめでとう

7月受付分（敬称略）

伊集院地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
税所 聖那	将司	徳重東
井嶋 桜子	義則	妙田寺三区
町田 留維	康伸	飯牟礼上
下 桜矢香	幸一郎	中川
中村 紗鈴	祐也	立野
齊藤 愛那	弘信	瀬戸内
末廣 龍人	尚仁	郡上
大重 亮輔	慶輔	立野
田中 咲来	博志	郡下
上 荒磯伶玖	公一	郡下
恒村 結心	和也	瀬戸内
姥 紅葉	清秀	郡下
中馬 優梨	了	妙田寺九区
富沢 侑和	喜美彦	下神殿四区

東市来地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
四元 咲妃	竜太	田之湯
立和名南衣	輝幸	中央
新原 花菜	亮	麓下
幾留 陸	章美	中央
東峯 光誠	昭吾	駅前

日吉地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
片平 響介	久行	南区

吹上地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
面園 一煌	賢一郎	緑ヶ丘
和田 愛佳	圭一郎	西本町

おぐやみ

7月受付分（敬称略）

伊集院地域

(故人)	(享年)	(自治会)
大庭 岩雄	80	飯牟礼中
弓削 辰己	76	猪鹿倉
南之園ハルエ	91	下神殿四区
四郎園テル	95	窪田
東 勝	75	郡下
藤崎 武男	69	徳重東
内野 至正	58	朝日ヶ丘
小園 清敏	58	野田
湯地 淳子	58	天神馬場
堀 文江	82	郡下
梶 肇	84	中川
東 勝義	54	中川
久保 十郎	73	野田
奥 正範	91	朝日ヶ丘
前原 紀美	58	瀬戸内
木下 貞徳	82	上神殿
水口 利彦	87	桑畑

東市来地域

(故人)	(享年)	(自治会)
宮内ヒミ子	88	萩
徳重アキ子	82	梅木
松元 實	96	駅前
田淵 勇雄	82	田代
西峯ユキエ	86	皆田東
徳重 辰夫	93	梅木
中園 重夫	83	中央
久保 浅吉	96	萩
片平マサエ	87	銚之原
石原 トモ	82	駅前
田代 ノブ	90	田代
瀬戸口逸雄	77	田代
元吉 エイ	99	古市

日吉地域

(故人)	(享年)	(自治会)
瀬野フミ子	79	北区
前屋敷貞夫	82	中区
小久保シヅエ	95	八幡
堂下 澄雄	81	中区
鯨島トミ子	80	北区

吹上地域

(故人)	(享年)	(自治会)
樋木 静男	85	荳岡
樋渡キミエ	97	小牧
山之内和昭	75	新川原
泊 千代	83	赤仁田
草木迫 繁	76	中草田
四元 親志	84	荳口
皮籠石カノ	94	南宮内
家村 貞雄	74	小野馬場
有元 久枝	80	荳岡
宇戸 ツル	84	藤元

携帯電話向けサイト

『日置市公式モバイル』のご案内



- 便利帳
公共交通機関等の電話番号を掲載しています。
- イベントカレンダー
市の各種行事等予定がご覧になれます。
- ごみ処理
地域ごとのゴミ出しなどの案内です。
- 日置市へのアクセス
市へのアクセス情報を掲載しています。
- 道路通行規制情報
(県ホームページリンク)
鹿児島県からの道路通行規制の情報は、
- コミュニティバス
市内コミュニティバスの各地域別発車時刻表を検索できます。
- 携帯サイトURL
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/k/>

日置市のホームページに、皆さんが持ちの携帯電話からもアクセスできます。

インターネット接続可能な携帯電話を利用して、「日置市公式モバイル」(携帯電話向け市公式ホームページ)の情報を検索できます。

携帯電話で利用できる情報は、次のとおりです。

● 緊急情報
災害等の緊急情報のお知らせです。

● 新着情報
市からのお知らせです。

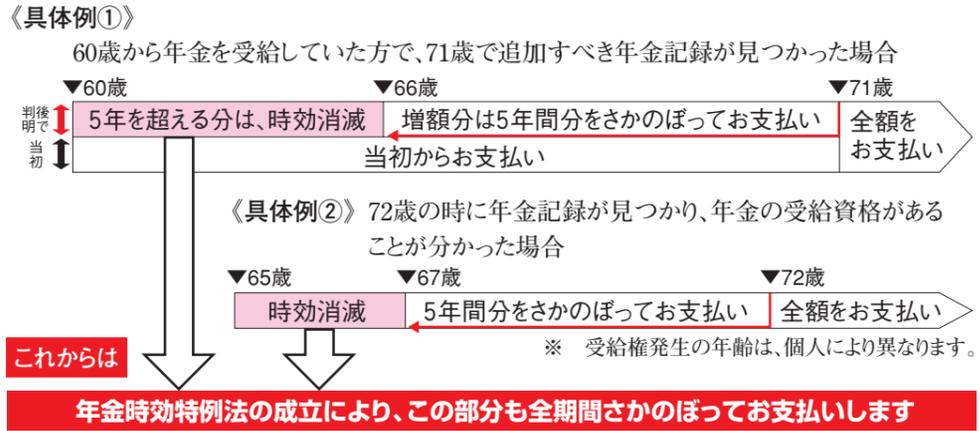
● 避難所一覧
非常時の市内各地域の避難所一覧です。

● 休・祝日当番医
休日・祝日の在宅医の案内です。

年金時効特例法について

年金記録の訂正による年金の増額分は、時効により消滅した分を含めて、ご本人または、遺族の方へ全額をお支払いします。

今までは
年金記録が訂正された結果、年金が増額した場合でも、時効消滅により直近の5年間分の年金に限ってお支払いしていました。



【お問い合わせ先】
鹿児島県北社会保険事務所
・ねんきんダイヤル
・フリーダイヤル
インターネットでのID・パスワード方式による年金加入履歴の取得もご利用ください。
<http://sia.go.jp>

TEL 2251-5121
TEL 0570-051165
TEL 0120-6517830



ギャラリー 私の作品展

『ロマンボール』

柏木 治子さん(72歳) 伊集院町大田

知り合いの家に飾ってあった作品を見てから、私も作ってみたいと思うようになり、ロマンボール講座を受講するようになりました。月2回、先生に教えてもらいながら講座生と一緒に楽しく活動しています。紙粘土から形を作り、色を塗ったり千代紙を使ったりして手作りで仕上げていく作品は、先生から同じように習っても、表情やできあがりは人それぞれ違います。作品を完成させたときとそれを人に贈って喜ばれたときが一番嬉しいです。これからも長く続けていきたいですね。



ウォッチまちの文化財 27

多宝寺跡(吹上地域)

県道谷山伊作線沿いの多宝寺自治会にあります。鎌倉時代から戦国時代まで、およそ250年にわたり伊作(吹上地域南部)を支配した伊作島津家(島津氏の分家)の菩提寺で、歴代当主(3代と10代を除く)や歴代住職の墓などがあります。

多宝寺は伊集院にあった広濟寺の末寺で、伊作島津家4代当主久義によって至徳元年(1384)に現在地に移されました。戦国時代後期に活躍した10代当主忠良(日新公と呼ばれる)は、島津本家当主になった息子の貴久を助け、弱体化していた本家を建て直しました。貴久の息子で伊作生まれの義弘やその兄弟は、忠良の教育を受けて育ち、後に九州のほとんどを制覇しました。

江戸時代の薩摩藩主は、多宝寺を祖先のゆかりの寺院ということで優遇しました。明治2年に廃仏毀釈で廃寺となりましたが、跡地に伊作島津家歴代当主と貴久を祭る石亀(いわがめ)神社が建てられました。

〈引用参考文献〉『吹上町の文化財と神話・伝説』
『吹上郷土誌 通史編1』



▲歴代当主の墓

Access

吹上支所から車で5分、石亀神社となり

僕は今、フレッシュリーグ「鹿児島コンドル」というチームで野球をしています。小学八年生から続けている野球ですが、度重なるケガで練習できない時期もあって、中学生ではレギュラーになることができませんでした。この前フレッシュリーグ県予選が行われました。この大会で五位入賞を果たし、福岡県で行われた九州大会にも出場しました。九州大会はトーナメントで、初戦から福岡県の強豪とあたり二回戦敗退。僕はレギュラーではなかったけど、代打で出場することができました。中学生もあと少し。これから目指すのは高校入学です。そして高校で野球部に入り、レギュラーの座を勝ち取ることが僕のこれからの夢です。ケガに悩まされた中学時代の悔しさを

と今まで一生懸命練習してきた成果を出せるように頑張っています。



土橋中学校三年 尾堂 哲くん



レギュラーになりたい!!

いきいき ひと

シリーズ27



長年、東市来町観光協会長を務め、地域イベント、伝統行事の存続、地域の観光振興や鹿児島県の観光の発展に貢献したことが認められ、平成十九年六月十四日に社団法人 鹿児島県観光連盟より表彰されました。現在、東市来町観光協会会長十三年目、理事から換算すれば二十一年目。旧東市来町議会議員も通算十八年務めました。観光振興について、「今は文化に新しい人がついてこない。助成金カットの時代で、行政だけではいけないのではないかな。総括して汗をかいた人が少ない」と現状を話してくれました。昔の苦勞話では、花火大会のとき寄付金を五百万円集めてまわったこと、今は景気が悪く条件などが一番厳しい時期であることをいろいろ話してくれました。今後は、「楽しい観光」「おもしろい発想で時代に促した観光PR」を行わないといけないのでは。商工、観光、農政が連携すればいい。特産品の発掘や地域特産になるようなものを限定販売、地鶏の卵に付加価値を付けて販売するなどすればいいのではとアイデアも披露してくれました。趣味は盆栽。自宅には、金魚、メダカ数十匹、スッポン三匹、比内地鶏五十羽、名古屋コーチン五羽と生き物好きで、ユーモアたっぷりな野崎さん。地域文化を継承しながら、地域活性化につながればと熱い思いを語ってくれました。

地域イベント、伝統行事、観光振興に貢献!



のざき ひろあき 野崎 宏昭さん[65歳]

東市来町美山(美山下自治会)

●日置市東市来町観光協会長
鹿児島県観光連盟理事

交流員のひろば9

シャーロット スプリング

Charlotte Spring さん

【日吉地域ALT】



こんにちは、はじめまして。8月から日吉地域のALTになりましたシャーロット・スプリングです。どうぞシャーリーと呼んでください。私は、ケンブリッジ大学で3年間人類学を学びました。22歳で、イギリスのウエールズの出身です。趣味は読書です。日置市では焼き物が有名なので、ぜひ学びたいと思っています。

ここでの滞在の間に英語を教えること、日本語を学ぶこと、また、日吉の方々や日置市の方々と会えることを楽しみにしています。

みなさん、気軽に話しかけてくださいね!